

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館

〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp



謹んで  
新年のお慶びを  
申し上げます

# 迎春

2024

琴平山展望台より



▲堂々とした発表

—これからも  
みらい塾のみ  
なさんの活躍  
を期待してい  
ます。

みらい塾で  
は、校内でア  
ンケート調査  
をしたり、遠  
方でフィール  
ドワークを実  
施したりして  
いるそうで、  
活動の幅は多  
岐にわたって  
います。

市民講座第2講が11月11日(土)に開催されました。講師は県立大間々高等学校の「SDGs井上浦造みらい塾」で活動している生徒のみなさんです。今年2月に開催された「第2回高校生まちづくりコンテスト」で優勝し観光庁長官賞を受賞したみどり市観光プランを発表しました。

わたらせ渓谷鐵道を核としたサブスクリクション制の観光プランで、資金調達から利益試算までよく練られており、大人顔負けの内容でした。その他、クイズを交えながら、SDGsをわかりやすく説明したり、みらい塾の日頃の活動を紹介したり、終始楽しい雰囲気でした。

SDGsのみどり市観光プラン  
市民講座第2講

## 楽しく体験くお母さんと一緒教室

### 生涯の思い出に!! 交通安全教室

11月2日(木)、第8回「お母さんと一緒教室」が笠懸公民館2階サークル活動室で開催されました。

今回は「交通安全教室」です。女性警察官が腹話術で人形の「いっちゃん」と会話しながら、お母さんと子どもたちに「チャイルドシートはかならず着けるように」などのルールを楽しく話しかけていました。むしむし村の子どもたちの交通安全のビデオも見ました。その後、大きくてかわいい「ねこ丸君」が登場!!子どもたちはびっくりしている



▲パトカーってかっこいい♪

ましたが嬉しそうに笑顔いっぱい手を振っていました。「ねこ丸君」は横断歩道や道路を渡る時のルールを、女性警察官に教わりながら動きます。さあ、手をあげて、右見て左見て、何度も確認して渡ります。もちろん車が止まってからね。上手にできたので「ね

### 消防車にワクワクが

11月17日(金)、桐生みどり消防署に現地集合し、消防署内の見学です。

消防車や救急車の内部を見たり説明を聞いたり、子どもたちは緊張しながらも真剣に見入っていました。はしご車のはしごが伸び始めるのと、上を見上げ「すごい!!!」とみんな大喜び。見学中に突然サイレンが鳴りびっくり!指令の放送があり救急車が出動するのを見送りました。

また、熱性けいれんや異

こ丸君」は手を振って帰って行きました。

交通安全教室が終わると庭に出てパトカーの見学です。普段、道路を走るパトカーを見ているだけで、実際に触ったり乗ったりする事はできません。今日は思いきり触って乗って沢山写真も撮りました。楽しそうなお母さんと子どもたち。生涯きつと良い思い出として残ることでしょう。



▲どこまで伸びる!?

物を飲み込んでしまった時などの対処方法も教えてもらい、子どももお母さんも貴重な体験ができました。消防車の前でいっぱい写真を撮ったりして、ワクワクドキドキの時間でした。

### グルテンフリーで

#### 元気な体を

笠懸公民館市民講座第3講が11月30日(木)に開催されました。「食を通して心と体に栄養を」と題し、料理研究家の北村裕美子さんが講演しました。

グルテンフリーとは、グルテンを含む食品を摂取しないライフスタイルのことをいいます。

グルテンはたんぱく質の一種で、小麦粉に水を加えてこねると生成され、粘りと弾力性が出てきます。グルテンの量が多く、質の強いものから順に強力粉、中力粉、薄力粉となります。グルテンは体内で消化されにくく、腸内環境を悪化させる原因となります。

#### 「7つのこ食」

- ・子食(子どもだけで食べる)
- ・小食(少ししか食べない)
- ・回食(決まった物だけ食べる)
- ・孤食(ひとりだけで食べる)
- ・個食(好きな物だけ食べる)
- ・粉食(粉ものばかり食べる)
- ・濃食(味付けの濃い物ばかり食べる)

#### 「まごはやさしいこ」

- ・ま(豆)大豆製品)
- ・ご(ごま)ナッツ類)
- ・は(発酵食品)
- ・や(野菜)
- ・さ(魚)魚介類)
- ・し(しいたけ)きのこ類)
- ・い(いも)
- ・こ(昆布)海藻類)

また、食事で大切なキーワードは「7つのこ食」と食品の頭文字を組み合わせた「まごはやさしいこ」です。これらを気をつけることで、病気になりにくい体を作りますと、ワークシートを使いながら分かりやすく説明してくれました。

これを機に公民館主催講座『野菜ソムリエが贈るグルテンフリークッキング』が開催されることになりました。



▲講師：北村裕美子さん

# 公民館の未来を一緒に!!

## 文化祭を振り返り

笠懸地域文化祭第3回実行委員会が11月28日(火)に開催されました。

今回の会議の目的は、反省や課題など来年に繋がる意見を出し合う事です。部会ごとに話し合い、全体会で出た意見を共有しました。共通の課題は

- ・各団体が高齢化してきて後継者がいない。
- ・文化祭の質や量が低迷してきている。その原因の一つに公民館のあり方に問題がある。



▲全体会の様子

・人を育てる事をしていない。公民館と利用者の交流が人を育てる。

・もう一度原点に振り返って、公民館についての勉強会の開催が必要。そうしていかないと、地域が衰退してしまう。

また、例年通りイベント部会の各団体から売上金の一部の寄付があり、合計で

## 未来に向けた

### 原点回帰

みどり市笠懸公民館利用者懇談会が11月25日(土)に開催され、『公民館ってどんなところ?』考えよう、つどう・まなぶ・むすぶ』をテーマに進められました。最初の全体会で分散会の趣旨説明があり、3グループに分かれ、「誰もが無料で利用できる施設」という主題で話し合いが行われました。

・公民館は誰でも平等に使

3万5000円だったことも報告されました。寄付先は県立渡良瀬特別支援学校の和太鼓部に決まりました。

今回の文化祭を通して今後の公民館のあり方について考える機会となりました。特に参加団体の高齢化や人数の減少で準備などが大変になってきていることなど、公民館と利用者で真剣に取り組んでいかなければならない問題との厳しい意見が出ました。

## 用できる施設

- ・気軽に利用できる施設
- ・何歳になっても学ぶことができる施設
- ・学んだことを地域に還元する
- ・無料で利用できるのだから、清掃費を掛けず自分たちで掃除をしよう、というところから公民館大掃除が始まった。
- ・などの意見が出され、「無料で利用できる意義を考え、今後の公民館活動に繋げましょう!!」と懇談会が終了しました。

## 江戸の将軍徳川家康

### 高齢者大学第6講

高齢者大学第6講が11月17日(金)、グンエイホールP A1(笠懸野文化ホール)で開催されました。講師は東洋大学名誉教授の白川部達夫先生で、大河ドラマで話題の徳川家康をテーマに講演しました。東洋大学講師派遣事業の共催です。

家康の先祖の話から始まり、出生、人質時代、織田信長や豊臣秀吉との関係、



▲講師：白川部達夫先生

将軍就任など、当時の時代背景も交えながら多角的で詳細な内容でした。家康が日本の歴史に与えた影響をよく理解できる講座でした。

## 令和6年度 笠懸地域文化祭

# 企画広報部員大募集!!

みんなで文化祭を盛り上げましょう!!

### 主な活動

- ◆ 文化祭全体の企画や運営
- ◆ 文化祭を盛り上げるイベントの企画
- ◆ 文化祭の宣伝
- ◆ 当日は文化祭スタッフとして、会場全体を盛り上げます!

### 【申込方法】

公民館窓口、電話、FAX、メールなどで、ご連絡ください

### 【申し込みきり】 2月4日(日)

### 【申込先・問合せ先】

笠懸公民館

電話:76-2211 FAX:76-2836

メール:kouminkan@city.midori.gunma.jp

メールアドレス

QRコード



### 未来があれば頑張れる 青少年健全育成大会

みどり市青少年健全育成大会が11月11日(土)、グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で開催されました。みどり市長のあいさつや来賓祝辞の後、非行防止標語コンクール入選者表彰があり、小学生の部6名と中学生の部6名が表彰されました。

また、みどり市少年の主張大会で市の代表となり東毛地区大会に出場した2名

### コラム 豆電球



#### 酒のつまみをさかなと いっしょはなぜ??

美味しい酒のつまみをもらったとき「これで酒のさかなにでもして下さい」といわれたことがある。「魚」ではないのに、いったいなぜ「さかな」というのだろうか?

「魚」が中国から輸入された漢字で、「さかな」はもともと日本人が使っ

の発表がありました。落ちて着いて話す言葉の一つ一つが静まり返ったホール全体に届いていました。素晴らしい発表をした2人に大きな拍手が送られていました。その後「現代青少年の心の問題とその対応」と題して、常磐大学人間科学部心理学科教授・秋山邦久氏の講演がありました。

褒めること、感動を与えること、夢を持たせること、そして未来があれば子どもは頑張れるなど、具体的に楽しい講演でした。見方を

ていた大和言葉だった。「さかな」とは、本来は酒に添えるものという意味で「酒菜」と書いていた。

したがって、その内容は幅広く、魚、鶏肉、野菜などのいわゆるおつまみなどのほか、引出物として添えられた服飾品や武器、歌謡や舞踊などの芸能も「さかな」とされ、それぞれ独自に発展していった。残されたのはおつまみで、「さかな」という語は酒と一緒に食べるものの意味に限定さ



▲講師：秋山邦久先生

変えるだけで人との接し方も変わるといふ事を学びました。

れた。

ところが、よく考えてみれば、酒と相性がよくてつまみに最も多く用いられているのが「うお」だった。つまり、「さかな」と呼ぶもののほとんどが「うお」だったわけだ。そのため、ごく自然に魚を「さかな」と読むようになったようだ。ちなみに江戸時代頃から「肴」魚」となったようだ。

### 地域づくりの重要性 県社会教育研究大会

群馬県社会教育研究大会が11月17日(金)に群馬県生涯学習センターで開催されました。

「社会の新たな変化に対応した社会教育のあり方」と題して、青山学院大学山本珠美教授の講演がありました。

また、永年の功績を称え表彰式も行われ、みどり市から3人が表彰されました。

### ちよっと早い クリスマス



読み聞かせサークル「あしの会」は、12月2日(土)笠懸図書館で「クリスマスおはなし会」を開催しました。約40人の親子が参加し、ちよっと早いクリスマスを楽しみました。

大型絵本を見たり、一緒に手遊びしたり、手品におどろいたり、拍手や笑い声であたたかい雰囲気でした。おはなし会の後は、クリスマスツリーの前でみどモ

社会教育功労者群馬県教育委員会表彰に仁田克洋さん(笠懸町)、群馬県社会教育委員連絡協議会表彰に新井博介さん(大間々町)と高野富田美さん(笠懸町)が受賞されました。今回の研究会では、公民館、学校、地域が連携して若者を巻き込んだ地域づくりが大事であると話していました。

なお、11月9日(木)に開催された第65回全国社会教育研究大会(宮崎県宮崎市)において、土谷芳治さん(笠懸町)が全国表彰を受賞されました。

又と一緒に笑顔で写真撮影もしました。

寒い冬にほっこりした時間でした。



▲たのしいひととき

### 毎年恒例クリーン作戦 笠懸町婦人会

恒例となった笠懸町婦人会のクリーン作戦が11月4日(日)に行われました。今回は、笠懸公民館南側の市道で作業。今年の夏は暑く葉も生い茂っていたため、落ち葉も大量でした。



▲落ち葉いっぱい!!

### 秋をかき集める

#### クリーン大作戦

みどり市ボランティア協議会と笠懸ライオンズクラブ主催の「クリーン大作戦」が11月11日(日)に実施され、鹿の川沼周辺と岩宿博物館駐車場を掃除しました。朝早くから集まった参加者は、ほうきや熊手で落



▲冬の訪れ

ち葉を手際よくかき集め、あっという間にゴミ袋がいっぱいになりました。いよいよ冬の訪れになりますね。

### つながる地域

#### 2区文化祭

5年振り4回目となる「2区文化祭」が2区公民館と広場で11月25日(土)・26日(日)に開催されました。ホールには絵画や書、写真、手芸、陶芸などさまざまな力作が並べられ、来場者を出迎えていました。2日目には地元につながる

びつしよりになりながら一生懸命頑張っていました。道路だけでなく、公民館の植え込みも見違える程きれいになりました。終了後、今年度の計画を確認しつつ、和気あいあいと話し合っていました。



▲作品に魅了

重要無形民俗文化財「横町太々神楽」の奉納舞「猿田彦」なども披露されました。広場は婦人会のフリーマーケットや育成会の綿あめ、ポップコーン配布、地区公民館の焼きそば販売で大盛況でした。また、防災訓練とスポーツレクリエーションも行われ、約200人が参加し、消火訓練や体力測定、ポッチャを楽しみました。地域のつながり大事です。すね。

### 防災を考える

37

#### 防災アプリ・SNS

今年も一年大きな災害が起こりませんようにと祈りつつ、お勧めしたいのが防災アプリです。スマホに1つか2つはダウンロードしておくことです。また最近では、S

NSを利用し、防災情報を入力することもできます。X、インスタグラムなどの防災を扱ったアカウントをフォローしておく、イベントやグッズ、動画など役立つ情報も見つけることができます。スマホが苦手な人はテレビのリモコンのボタンを使って、防災情報や気象情

報などを見ることもできます。ただし、フェイクニュースなどの間違った情報に惑わされ食料を買い占めるのではなく、隣近所や友達を思いやるゆとりを持ちましょう。いざ本当に災害が起きた時、モラルある行動が出来るよう、今年も備えましょう。

笠懸公民館主催教室事業

## ホントは楽しい中学古典

～裏読み・深読み・斜め読み～

古典を知っているだけで、パロディが理解でき、人生は豊かになる!?

◇内容◇  
中学古典をつまみ食い・授業では教えない  
古典の魅力を教えます!!

Before After

- ◇日 時 1月28日(日) 午前10時30分～正午
  - ◇会 場 笠懸公民館2F 視聴覚室 例えば...
  - ◇対 象 市内在住・在学の中学生・高校生 『竹取物語』(中1年)は日本最初のSF小説!?
  - ◇定 員 30人(先着順)
  - ◇参加費用 無料
  - ◇講 師 三ツ屋 雄一 (元東中学校校長)
  - ◇申込方法 電子メール、窓口、FAXまたは電話
  - ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④学校名・学年
  - ◇申込期間 1月10日(水)～1月23日(火)※月曜日を除く 午前9時～午後5時
  - ◇問い合わせ 笠懸公民館 ☎ 0277(76)2211 / FAX 0277(76)2836
- ✉ kouminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード

地区公民館だより⑦

笠懸町第7区

笠懸町第7区では、毎年恒例の納涼祭や敬老行事、レクリエーションなどを行っています。

今年は各種団体の協力のもと、4年ぶりとなる納涼祭を無事に開催することができました。ビンゴゲームでは、子ども達の弾けるような笑顔がとても印象的で

来年の開催を今から楽しみにしています。

また、1月14日に開催される「笠懸町子ども会上毛かるた大会」に向け、週に2回上毛かるたの練習をしています。寒さに負けず、日々熱戦を繰り広げています。スポーツ分野では、区対抗野球など、積極的に参加して地域活性化にも力を入れていきます。

今後も地域の皆様が健康

ジャンルを超えて  
音楽×書道×サーカス

「音楽×書道×サーカス 石原和三郎メモリアルイヤートライブinみどり



▲芝生広場に力作登場

市」が11月5日(日)にグリーンホールPAL(笠懸野文化ホール)で開催。

アートライブは群馬県の地域特性を生かしつつ、コロナ禍で活動の場を奪われた若手アーティストを中心にジャンルを超えた斬新なアイデアで構成される文化プログラムです。

今回は童謡「うさぎとがめ」の作詞家で、旧勢多郡東村(現みどり市東町)出身の石原和三郎の没後百年を記念し、音楽と書道、そしてサーカスを融合させた2部構成で催されました。まずは伊勢崎清明高校書



▲1枚でも多く!!(7区公民館)

で笑顔溢れる場になるよう目指していきます。

道部の生徒たちが、県内出身の音楽家たちが奏でる石原和三郎の楽曲に乗り、書道パフォーマンスを披露します。袴姿の生徒たちが演奏にあわせて勇ましく踊りながら、巨大な紙に「闘志」の大作を揮毫します。

続いて沢入国際サーカス学校の在校生、出身者を中心とするパフォーマンスたちが、同じく生演奏にあわせて、サーカスの華麗な舞を披露します。

全ての演技が終了した後、パフォーマンスを盛り上げた音楽家、演奏家たちへ惜しみない拍手が響きました。

正月料理に挑戦!!

5区婦人学級

5区岩宿婦人会(桑原千恵子代表)の料理教室が11月10日(金)、笠懸公民館料理実習室で開催されました。

今日は正月料理の「だて巻き」を作ります。講師は調理師として30年以上の経歴を持つ佐藤哲さんです。奥さんも助手として手伝いに来てくれました。

岩宿婦人会の皆さんは、祭りや敬老行事など、区の手伝いのほか、体操教室や



▲だて巻きに愛情を込めて♡

すで巻き、冷めるまで輪ゴムでしっかりと止めておきます。その間、炊き込みご飯や味噌汁などを手分けして手際よく作っていました。楽しい素敵な笑顔と共に、室内は美味しそうな匂いが立ち込めていました。

出来上がった料理はみんなで試食。記者も一緒にいただきました。美味しかったです。美味しかったです。美味しかったです。



▲きれいな“の”の字

寄せ植え教室など、年間を通して活動しています。今日は以前に皆で作った割烹着を着て参加していました。「だて巻き」は卵をメインに材料・調味料を全て加えかき混ぜます。フライパンでじっくり焼いたら巻き

# こえの ひろば

列車にゆられて(66)

阿武隈急行線

野利 哲



▲車窓から

阿武隈急行線は通称「あぶ急」と呼ばれ、東北本線の福島駅から東北本線の槻木駅までの54.9kmを結んでいます。レールは東北本線の東側に沿って、伊達市の保原、梁川、宮城県の丸森町、角田市を経て槻木へと向かいます。

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

り、矢野目信号場から右に分岐し、田園地帯をのんびりと北に向かいます。単線で第三セクターでは珍しい交流電化です。富野駅を過ぎ兜駅から丸森駅まで左に阿武隈川を見ながら、いくつものトンネルを抜けて行きます。兜駅を境に宮城県に入ります。この辺りは2011(平成23)年の東日本大震災、2019(令和元)年の台風19号で甚大な被害を受けた区間です。丸森駅からは国鉄時代の丸森線となります。国鉄の時代、キハ20形の気動車が丸森〜槻木間まで一日数往復していた閑散線区でした。

SLファンにはうれしい情報があります。あぶ急線の「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩5分のところにミニSL(ナロゲージ)の西口駅があります。4〜10月の季節運転で、西口駅から東口駅まで約800m



▲こどもの国へ

を走っています。午前中2本、午後3本で蒸気機関車が3両の客車を引いて走ります。運賃は片道300円でした。車号はB62418です。Bは動輪数(2)、数字は運転開始日となつているようです。つまり昭和62年4月18日から運行です。

あぶくま急行線の福島駅ホームからJR線のホームを見ますと、東京駅からの距離標が見えます。273kmとありました。遠いですねえ。

◆運賃 福島駅〜槻木駅 (あぶ急)片道980円 (JR) 片道990円 一日フリーキップ (多種発売)

※私が購入したのは飯坂温泉日帰りキップ(通年販売)1500円。

## 四季の会 十二月句会



往診の患者の庭や冬ざくら  
ちゃんちゃんこ夫の思ひで背な温し  
小春ぞら園で会ふママライン聴く  
雪吊りの兼六園やふたり連れ  
川面をつつひて進む銀ヤンマ  
手ぶくるとマフラー首に保育園  
冬座敷夫の寝言に起こさるる  
陽に光るガラスの如く枯れ落葉  
実南天ビニールをかけ正月用  
すき焼きに子らは無口でクリスマス  
良きことは近くにありて冬銀河  
年老ひて夫婦は似たり枇杷の花  
干し柿のプリンを買って帰宅する  
一夜にてふり積りたる枯れ落葉  
昭和へと話しを戻し実南天  
禅寺の落ち葉に埋もる赤い橋  
掲載の新聞待つや霜の朝  
ガラス戸に映る人影冬の朝  
あぜ道を母追ふ記憶冬ざるる  
小春日や姉の電話で長話し  
大東の下仁田ねぎを道の駅  
餅をつく秩父の郷へ呼ばれをり  
曾孫連れ孫の来りて冬休み  
冬ざくら夕日の中の子ら四人  
味噌仕込む季節となりて麴買ふ  
冬の蜂動作も鈍くなりけり  
風邪熱の下がらぬ夫と粥を食ふ  
韓ドラに嵌りし日々や炬燵守り  
プレハブに峙を変へる冬の猫  
冬支度もうじき終ゆる雨の午後  
浅間山雲のかかりて雪化粧  
なべ囲み子らが揃ひてクリスマス  
鶴のかず日増しに増ゆる阿左美沼

- 櫻本 千春
- 国木美代香
- 中野 千鶴
- 宇野 順雪
- 泉 純佳
- 松島 陽春
- 平川 秋桜
- 佐藤由美香
- 高野 春蝶
- 山本 歌仙
- 金井 英磨
- 高野 光詢
- 細川 由桂
- 川道ひさ女
- 前原 紫蘭
- 童 鳥海
- 糸井 梅光
- 横倉 雅
- 韓 百日紅
- 新羅 光海
- 石原 青蓮
- 冠 二郎
- 徳田 夕子
- 細川 和勘
- 糸井 初音
- 小林 狐一
- 山本 舞華
- 小林 華笑
- 楢沢 春蘭
- 宇野由希子
- 村田 小町
- 宇野 勘大
- 金 光月

### テクテクお城歩き(43)

武田氏館 歩遊人

山梨県甲府市内に日本100名城のひとつ武田氏館があります。文献によれば永正16(1519)年石和から館を移した武田信虎に始まるという。その後、信玄、勝頼と武田氏三代にわたり約63年続いた館とい

います。甲府駅から約2kmの処に国指定史跡(昭和13年)の躑躅ヶ崎館跡があります。館跡には堀、石垣、井戸などの遺構が残っています。そして、武田神社は武田信玄が祭神として祀られており、参拝者が後を絶たない



▲武田神社



▲要害山城

ようです。北方にある要害山(標高780m)は信虎が永正17(1520)年、緊急時に立てこもる詰めの城として築城したものです。戦国期、城としての役割を担っていたようです。翌年には信玄が産まれた(麓の積翠寺との説もある)よう

いってみた!!

FUYUMI

市民講座第1講でご紹介頂きました、赤城自然園へ秋の山間から風街道を走り抜け、行って来ました。駐車場が満車になる程大勢の方が秋の自然を散策に

で、戦になるとこの山城に避難したといえます。2度歩きましたが堅堀、土塁、曲輪などよく残っています。積翠寺から山城の主郭(比高260m)まで私の足で約40分の道のりでした。甲府市内を眼下に見下ろす高台でハイキングコースにもなっていました。

訪れていました。

園内は川のせせらぎ、野鳥のさえずり、爽やかな風木々の隙間から溢れる太陽の光は、とても暖かく、優しい光、そして様々なお花が出迎えてくれました。昆虫館もあり、そこには標本が展示されています。



▲爽やかな秋満喫(赤城自然園)

## 笠懸短歌サークル

十一月例会より



発症せし夫の闘病三歳経る山並み望みてせつせと歩む

秋日和に兄弟姉妹の初の旅塩屋岬にひばりを偲ぶ

窓外に八ヶ岳見放くるホールああ真理子の弦は音色響かす

怖がらず手のひらに乗る蝶々よ誰の化身か二言三言

ほつほつと白き山茶花認めにしが暮れて遠目に確かめがたし

雨だれの小さき穴の庭にあり物干し竿の下につらなり

上村 征子

加藤 康子

久保田茂子

近藤ふさ子

関口 定夫

平山 勇

### ちょっと一息



仕事がテレワークになつて3年目に入る。コロナの5類移行後は事務所業務に戻るかと思つたが、災害などの緊急事態に備えたBCP(事業継続計画)対策だとか、事務所や通勤コストの削減という観点から今後テレワークが継続されることになった。

何しろ業務の生産性・効率性も向上しているらしいので、今更事務所業務に戻す必要もないらしい。なるほど、事務所通勤時のわずらわしい諸々のストレスから解放されて確かに業務効率は上がっている。

愛犬が横にいながら仕事ができる環境はすこぶる精神面に良い。多少のイライラがあつても声を荒げたり机を叩いたりすることがない。

今日も外で移動販売の魚屋さんの音楽が流れる中、取引先との通話中苦笑する。恐れ入ります。現在テレワーク中でして・・・

(二〇二〇)